

# 会 議 録

内 容：平成 26 年度軽井沢町グランドデザイン像作成に伴う会議（第 2 回/全 12 回）

場 所：軽井沢町役場第 3・4 会議室

日 時：平成 26 年 5 月 7 日（水）13 時 30 分～17 時

出席者：軽井沢町（町長、横島、依田、森、遠藤、春原）

中村、udc(護、小野寺), 小野寺事務所(上條), アトリエ T-plus(南)

①100 年ビジョン図（イマイカツミ氏との調整）について小野寺氏より説明があり、議論を行った。結果下記。

## ◆作業および作業スケジュールについて

・農閑期（9 月～10 月）に集中して仕上げたい。（イマイ氏希望）

・8 月下旬に軽井沢視察（予定）

・仕上げる前のスケッチ段階で軽井沢町との調整を行う。

→作業スケジュールについては、今後詰めていく。【再調整】

・エリアデザインに 100 年ビジョン図から繋ぐ窓口のイラストとして、カット絵を入れる。

→ズームインする場をピックアップ可能な様に密度、精度をあげて描いて頂く。【要協議】

・吉田初三郎は無季節だが、季節感を出す。

→各場所で四季を書き分けるのか、季節感についてはイマイ氏と協議する。【要協議】

・キャッチコピーの入れ方は要検討。

→図中に入れる場合、図として入れるのか？後で図上に重ねるのか？イマイ氏と協議する。

## 【要協議】

→図中には入れず、写真と連携させて並べる事も可能。教科書的な体裁としては良い。レイ

アウトについても検討が必要。【要検討】

## ◆費用について

・出来上がりによって製作費を決定する。（イマイ氏の希望製作費は、製作＋交通費で 100 万円程）

・グランドデザイン作成費は、イマイ氏への製作費のみではなく、それまでの調整費を含めての金額とする。

→出来高支払とし、100 万円からの交渉で作業を依頼する。【決定】

・パネル製作時、写真製版は必要。予算に計上する。

## ◆著作権について

・口約束ではなく、契約は文書として残す。

・部分使用も可能なような契約とする。

→買い上げ方式とする。【決定】

⇒上記について、小野寺氏が富良野で協議する予定。

②エリアデザインについて小野寺氏より説明があり、議論を行った。結果下記。

◆進め方について

- ・最終プレゼンテーション（最終的なイメージ）についても同時進行で進める。
- ・5年、10年、20年のイメージ図が並んでも良い。
- ・エリアによって、プレゼン方法が変わっても良いので、多様な提案を行う。

◆全体（100年ビジョン）に反映する内容について

- ・ルート名称の検討 → 既に存在する。観光協会との調整が必要となる。
- ・自転車道、フットパスを部分的に入れる。

→ある区間に風景として入れる。

→自転車道は別途ネットワーク図を作成する。各エリアを結ぶ理想的なネットワークを検討する。

◆エリアデザインについて

【旧軽井沢】

（1. 聖祝祭プラザ+ 2. 別荘保存の決意表明図+ 3. 旧軽銀座の街並み）

○聖祝祭プラザ

- ・絵としては、諏訪ノ森公園まで入れる。まちに開いた公園として提案する。
- ・公民館に喫茶等の機能も入れて検討する。

→公民館は大きくなくても良い。現在は社会教育法より機能に制約があるが、プラザ、憩いの場としての機能を盛り込む事で良い。

- ・商業施設は教会広場より公園内の方が良い？教会広場が狭くなる。

→銀座通りと連携させるためにも、教会広場に賑わいを持たせる方が良い。

○旧軽銀座の街並み

- ・軽井沢モダンを取り入れた銀座通りの街並みについても検討を重ねる必要がある。民間の協力を入れたイメージ図として早期に提出する。

○別荘保存の決意表明図

- ・良い別荘は街路からは見えない。街路から見える別荘を描く方向で良い。八田氏の別荘は軽井沢にはじめて出来た別荘で書きやすいのでは？

→イメージ図の場所は今後検討する。

○全体図

- ・諏訪神社～愛宕山（案）
- ・守るべき別荘空間+LRTの複合図（案）

→全体図の範囲、イメージは今後検討する。

【新軽井沢】

1. 駅前+ 2. LRT・本通りの街並み+ 3. 矢ヶ崎公園

○1. 駅前+ 2. LRT・本通りの街並み+ 3. 矢ヶ崎公園

→平面図の内容については全般的に合意

- ・軽井沢に降り立った時に軽井沢と思わせる風景が必要。

○LRTについて

- ・LRTは三角ルートよりL型のルート（2路線）、1ルートは自転車ルートを提案。
  - L型で了承、路線はリモート点を作り、1路線とする。電線なし。
  - ・LRTは道路中央に配置、軌道敷きは芝生として車が入らないような工夫を施す。
- ⇒LRTの構想については浅野先生と協議する。（5月20日UDCにて協議）

○全体図

- ・模型があうエリア。→今度検討する。

【中軽井沢】

○街区について

- ・水をテーマとして街区に引き入れる案を提案。
- 個々（地元）で行う事は難しい。水を使った「再開発型」が理想的である。
- 他地区とは違い住民が多い地区であり、住民が利用する店舗が必要である。（「食のまち」「手習いのまち（手芸等は盛ん）」等の特性を捉える。）
- 地域の復活に答えを出す事が1番のきっかけである。活性化計画が必要である。
- 本通りではなく、裏に核（水の街区）をつくる事は良い。
- イメージ図は、場所が特定されないようにする。

○役場周辺について

- ・役場周辺は視野に入れられない方向とする。長倉神社と湯川は範囲に入れる。
- 河川、沿道の修景、活用イメージを提案する。

○表通りのイメージ

- ・表通りの街並みイメージは手を付けられない訳にはいかない。
- ・大胆な案を提案して欲しい。道路が広く見える様に、あえて樹木を入れず、芝生の道にする等。
- 緑の風通り（グリーンベルト）として提案する。

【南軽井沢/南地区】

1. 風越公園（ユウスゲオーラム）＋直売所（発地市庭）
  2. 里山博覧エコミュージアム
- 風越公園（ユウスゲオーラム）＋直売所（発地市庭）
- ・植物園を移転し、発地市場と連携させる案を提案
  - ・現案の植物園の場所は、湿地性の植物には適地である。里山構想の1つとしても位置付ける事ができる。
  - 植物園にきた人が直売所にも足を伸ばすような仕掛けとする事が移転の目的でもある。植物園の駐車場は不要、入口および管理棟は直売所の近くに設置（位置案は確定）
  - ・植物園と市庭の境界が分からない様に配慮する。
  - 植物園の緑が染み出すような感じで、フェンスを緑でサンドイッチする。
  - ・発地市庭の名称について
  - 公募の準備で進んでいる。検討委員会で議論する。名前の経過がはっきりしていれば問題ない？

○里山博覧エコミュージアム

- ・食糧安全保障のストック場（農地）として公費を入れる予定である。（町）
- ・二次利用（つなぎの構想）も検討する必要がある。

→馬より羊（羊牧場）の利用が良い。農地が荒れる事もなく、牧畜は農業政策でも保護される。

→サイクリングロードは入れる。

- ・高原保養として草地、高原のイメージを復元するコンセプトは風景論上良い。

⇒農地保全、里山をテーマとしてまとめる。50年の将来は里山の風景に似合う放牧地としてイメージを作成する。

○全体図

- ・農と健康をコンセプトに「スポーツ」「市庭」「農地、里山」を範囲に入れる。

○次回の協議について

- ・平成26年5月26日（月）とする。

※午前中 宮本事務所と協議

- ・議題は

1) グランドデザイン

①コンセプトと内容

②仕様（描きこむ事物・施設）

2) エリアデザインの仕様

①コンセプトと内容

②各地区仕様（作画方法、全体図に描きこむ事物・施設、例示場所（再確認含む）、）

③例示場所イメージ図

3) 工程表（作業項目と日程）

4) 会議開催予定日程

○配布資料

1. 次第

2. 前回議事要旨

3. エリアデザイン素案（旧軽井沢・新軽井沢、中軽井沢、南地区、）（小野寺事務所）

3. 平成26年度軽井沢町ランドデザイン像作成工程表

4. グランドデザイン像の展示場所について

5. 100年ビジョンキャッチコピーについて（横島参与）

以上